

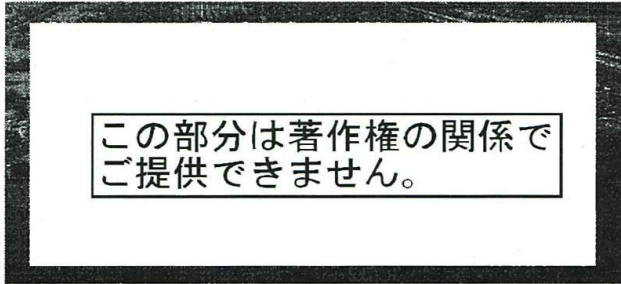
■■■■無断複製・転載禁止■■■■

# インドネシアで4.9万㎡ アウトレットモール開発

## 三菱地所 年内着工目指す

三菱地所は、インドネシアの首都ジャカルタでアウトレットモールの開発事業に参画する。シンガポールのデベロッパのトゥアン・シンク・ホールディングス（HD）と共同で約4.9万平方メートルの施設を整備する。基本設計は三菱地所設計が担当。年内に着工し、2023年末の開業を目指す。総事業費は約70億円。出資比率は三菱地所50%、トゥアン・シンクHD 50%となる。

計画名は「ザグランドアウトレット イーストジャカルタ」。建設地はジャカルタ中心部から車で約60分に位置する。敷地面積は約8.8畝。ジャカルタとバンドンを結ぶ高速道路沿いであり、2都市を結ぶ鉄道駅の開通も年内に予定される。店舗面積は約4万9000平方メートルを想定している。



建物にはS造平屋（一部2階建て）4万9000平方メートルを想定している。店舗面積は約4万9000平方メートルを想定している。また、海外事業を強化。新たな国での出店計画も検討している。

アウトレットモールの完成イメージ（報道発表資料から）  
は約2万6000平方メートル。高級ブランドの物販店やレストランなど約180店舗を誘致する。イベントスペースやキッズパーク、フードコートも整備も予定している。  
東南アジアの個人消費の成長を見据え各ブランドが出店を拡大したことでアウトレットモールへの需要も高まっている。三菱地所は19年にタイのアウトレット「セントラルヴィレッジ」の開発に参画するなど海外事業を強化。新たな国での出店計画も検討している。